

美唄市男女共同参画推進協議会会報

デュオ



デュオとはイタリア語で「二重唱」「二重奏」を意味します。

発行：美唄市男女共同参画推進協議会事務局

知ってますか？男女共同参画用語 ポジティブ・アクション

Q1. ポジティブ・アクションってどういう意味？

厚生労働省が推進している活動で、もともとは少子・高齢化社会による労働人口の減少に対応して社会保障や年金制度などを支えていくため、女性労働者の活用を目的とした政策でしたが、現在では主に「働く女性の活躍を推進するための企業の取り組み」という意味で使われています。

Q2. どんな意義があるの？

仕事をするうえで、性別による役割分担、例えば「女性は結婚したら退職」、つまり「家事や子育ては女がする、仕事は男がする」という事例が依然として見られます。しかし、このような差別により、働く上で与えられるべきチャンスを得られない女性がたくさんいます。

ですので、法で「男女の雇用差別禁止」と定めるだけではなく、企業が格差改善に意識的に取り組むことで、働く意欲や能力のある女性も、男性と対等に活躍できる機会が得られるのです。



Q3. ポジティブ・アクションを進めるにはどうしたらよいの？

企業の状況にもよりますが、一般的に女性社員の現在の働き方や登用状況を把握・分析して問題点を発見



問題点解決のため、企業の実態に応じた具体的な目標を定めた取組計画を作成



計画に沿って取り組みを実施

※計画を進めた上で生じた課題は早期に対処！

※計画は、状況に応じて柔軟に修正することも必要！



成果について、一定期間ごとに点検・評価し社内で公表。計画が進まない場合は原因を調べ、必要であれば計画を修正といった流れになります。

実際にポジティブ・アクションを進め「女性社員の労働意欲や外部評価（企業イメージ）が向上した」などの成果があった企業もあるそうです。



※ポジティブ・アクション普及促進のためのシンボルマーク「きらら」

社会で頑張る女性を支えるためには、個人や企業の意識を変えていくことが必要です。今までの風潮や慣例を変えるのは難しいかもしれませんが、女性の働き方を見直すことで、社員同士の連携強化や多様な人材育成、企業の業務全体の見直しにもつながるかもしれませんね。

企業の皆さん、「ポジティブ・アクション」、進めてみませんか？

ポジティブ・アクションの詳しい内容や企業の取り組み実例などの情報が満載のポータルサイト

「ポジティブ・アクション」をチェック！

<http://www.positiveaction.jp/>



男女共同参画週間ワークショップ

を開催しました

男女共同参画週間(6月23～29日)に合わせ、6月25日に市民会館でワークショップを開催しました。札幌市男女共同参画センターの岩田眞智子氏、川村悟氏を講師に招き、2つのテーマについて、参加者27人がグループに分かれ意見を出し合いました。



1つ目のテーマは「ミリーのお母さんの赤いドレス」。『母であるがゆえに、家族のためだけに懸命に生きた自分の人生を後悔している』と娘に語った内容から感じたことを話し合いました。2つ目は「女でよかった、男でよかった」。自分が女(男)で良かったこと、逆の性別がうらやましいときなどの事例を書き出しました。

以下は、参加した会員の感想です。



最初に参加27人中男性13人と聞き、思ったより男性の参加が多く、又若い人が多い事に驚くと同時に嬉しく思った。

病気で余命幾ばくもないミリーのお母さんがひっそり大事にしていた赤いドレス—子供・夫のためだけに生きた母が、一度も着た事のないそのドレスを買った経緯を、夫の反応を、そして自分の生き方、間違いだったと気付いたその人生を語った。「私のような人生をたどってはダメ」と言い息を引き取った母。それが初めて自分を主張した時だった…。

グループ毎に発表した内容から、年代により感じ方に違いがあることがわかった。50代後半～60代は「理解できる」。40～50代は「親の世代の生き方と重なる。肯定しないが理解はできる」。20～30代は「少しでも周りに話せてたら…やりたいことができないのはかわいそう」。

現在は、性別に関係なく言いたいことを言いやりたいことをできるが、全てがそうだと言いつけるだろうか? 「女の自分が意見を言うのは」「男なんだからシャントして」「男(女)のくせに」「女(男)なんだから」…。

皆でワイワイ話していると思いがけない発見がある。無意識に思いこんでいることが意外に多いことに改めて気付かされる。たまには、人間について、男と女について肩肘張らずに話してみるのも必要かなと感じた時間だった。(野 祐子)



終了後のアンケートでは「性別にとらわれ『無意識に』普段行動していることに気付いた」という意見や、「女だから得していること、免除されていることもあるのに気付いた」等の意見も。最後に「性別に関係なく、できないことをできる人がやってあげる・お互いが補い支え合うことが大事」という講師の言葉に、皆さん共感しうなずいていました。



男女格差は少なくなってきたものの、家庭内役割や社会的地位は男性優位にある現状です。ですが、一人一人が自分の意識や今までのやり方を変えてみることから「男女共同参画」が一步前進します。

「デュオの会」屋外活動

「Duoの会」の存在と活動内容を多くの方に知ってもらうため、2月6日に開催された「第58回美唄雪んこまつり」において、会報15号を来場者の方に配布し、PR活動を行いました。

活動風景



当日は好天に恵まれ、多くの方が会場を訪れていました。会報を手渡すと「いつも楽しく読ませてもらっているよ」など声をかけてくださる方もいました。

これからも「男女共同参画」について皆さんに知っていただき、また会の活動を推進していくため、さまざまな取り組みを行っていきます。

Duoの唄

このコーナーでは、主に会員から寄せられた男女共同参画に関する様々な思いを寄せた唄を掲載しています。特に決まった形式ではなく、身近な生活の中で感じたことや疑問に思っていることなどを川柳のような短い言葉で表現したものです。

会員以外の方からの唄も大歓迎です。自身で作った自慢の句を会報に載せてみませんか？興味のある方はぜひ事務局まで。

パ
じ
子
守
唄
ペン
ネーム
M・K

将
来
の
夢
「野球選手」と
言う娘
ペン
ネーム
Y子

母
の
味
だ
か
ら
パ
お
お
ね
が
い
ね
ペン
ネーム
マーヤ

配偶者暴力相談窓口について

配偶者からの暴力で困っている方などの相談を受ける窓口を設けています。このような方については「配偶者からの暴力の防止および被害者の保護に関する法律」により、専門の相談や必要に応じて一時保護する施設の入所、配偶者の接近禁止などの申し立て制度などが定められています。

法律についてのお問い合わせや相談がありましたら、下記までお気軽にご連絡ください。

*女性相談窓口 美唄市役所地域経営室 63-0113(受付・月～金、8時45分～17時15分)

*道立女性相談援助センター(札幌)011～666～9955(受付・月～金、9時～17時)

美唄市男女共同参画講演会(仮)を開催します どこで暮らしますか？－サポートが必要となった時－

「女性が家で家族の世話をする時代」は大きく変わり、現代では「施設での介護」、「夫が自宅で妻を介護」など、介護を取り巻く現状はさまざまです。

現在介護を受けられている方はもちろん、介護に関心のある方など幅広い皆さんに、自分や家族、他人と介護とのかかわり方などについて考える機会となっていたら、と考えています。



- 日 時 11月11日(金) 午後2時～午後3時
- 会 場 ホテルスエヒロ
- 講 師 藤島薫氏(旭川大学准教授)
- 定 員 60人
- 参加申込 会場・資料準備の都合上、事前に申し込みください
- 主 催 美唄市男女共同参画推進協議会、美唄市
- 申込・問合せ 市役所地域経営室 TEL 0126-63-0113へ

－講師からのメッセージ－

どんなに健康な人でも、老いは必ずやってきます。また「こころや体の病気に絶対ならない」と言い切ることはできません。誰かに援助を受けながら生活することになった時、あなたはどのような生活を選択しますか？

在宅や施設で介護やサポートを受けながら生活をしている事例を通して、自分自身の人生観・価値観を考えるとともに、すべての人にも個別の人生観・価値観があってニーズも違うということを知っていただきたいと思います。

編集後記

「男らしい」「女らしい」「北海道らしい」「美唄らしい」「本物らしい」など、「～らしい」という言葉は、話す人が「らしい」の前につく「～」を想像しながら言う言葉。だから、どうイメージしてもものをしゃべっているかが問題になる。

今後の「Duo の会らしい」活動も、「Duo の会」の姿をどう考えていくかが問われる。はて・・・「編集後記らしく」なっただろうか・・・。(高島 史図)

「美唄市男女共同参画推進協議会(通称Duoの会)」会員募集中!

新規会員を募集しています。男女共同参画社会づくりに向けて学習し、家庭や職場・地域で身近に取り組める実践を目的としています。興味のある方は、ぜひご連絡ください。

◆問合せ・入会申込など◆

事務局(美唄市役所地域経営室内)

TEL 0126-63-0113へ